学期／Semester	2015年度／Academic Year　後期／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	火/Tue 1
開講期間／Class　period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択／Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学)／Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード／Time schedule code	20150586005302	科目番号／Subject　code	05860053
科目ナンバリングコード／Numbering Code			
授業科目名／Subject	●現代経済と企業活動Ⅰ(経済活動と社会)		
編集担当教員／Professor in charge of putting together the course syllabus	村田　省三		
授業担当教員名（科目責任者）／Professor in charge of the subject	村田　省三		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Professor(s)	村田　省三		
科目分類／Class type	全学モジュールⅠ科目		
対象年次／Year	1年，2年，3年，4年	講義形態／Class form	講義
教室／Class room	教養教育A棟24		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	murata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館5階５０２		
担当教員TEL/Tel	095-820-6340		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了直後の20分程度		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	市場メカニズムがどのような経緯で成立したか、また、その固有な問題点（市場の失敗）は何かについて解説する。また、市場メカニズムのもとでの憲法の特徴を解説して、それによる弱者救済の方策について解説する。		
授業到達目標/Goal	市場メカニズムの成立過程について、また、それがもつ問題点について理解できるようになる。また、近代憲法との関連を理解できるようになる。さらに、近代憲法下での弱者救済の難しさを理解出来るようになる。		
授業方法（学習指導法）/Method	主として板書によって解説する。特に法律関連等における必要な資料は配布する。なお、講義の後半（第12回以降）においては、受講生の意見に対する個人レポート作成提出も予定している。ただし、受講生の人数が少ないときは、受講生の意見に関する部分は班別で実施することもある。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	市場メカニズム、憲法、公共の福祉、弱者		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	必要な資料は配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	第1回、第2回のレポートの配点は各20点。 第3回、第4回のレポートの配点は各30点。 合計100点。		
受講要件（履修条件）/Requirements	受講人数以外には、特に履修条件を（講義担当者としては）定めません。		
学生へのメッセージ/Message for students	中学校で公民を学習して、その内容を再学習したい人に好適な内容も含んでいます。		

授業計画詳細

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション －市場メカニズムへの過程、市場メカニズムの問題、市場メカニズムと近代憲法、近代憲法と弱者救済－
第2回	市場メカニズムへの過程 －貨幣経済、市民革命、自由主義憲法－
第3回	市場メカニズム －工場法、普通選挙、世界大不況－
第4回	パレート最適と経済成長 －パレート最適資源配分－
第5回	まとめとレポート
第6回	市場の失敗（Ⅰ）
第7回	市場の失敗（Ⅱ） －リンダールメカニズム、ピグー最適課税－
第8回	豊かな社会と弱者問題 －憲法における弱者問題－
第9回	まとめとレポート
第10回	憲法判例（Ⅰ） －経済成長と弱者、公衆浴場判例、薬局距離制限判例－

第11回	憲法判例（Ⅱ） －経済成長と弱者、公衆浴場判例、薬局距離制限判例－
第12回	憲法判例（Ⅲ） －経済成長と弱者、まとめ－
第13回	まとめとレポート
第14回	レポート結果の検討
第15回	まとめと最終レポート
第16回	

学期／Semester	2015年度／Academic Year　後期／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	火/Tue 2
開講期間／Class　period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択／Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学)／Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード／Time schedule code	20150586005702	科目番号／Subject　code	05860057
科目ナンバリングコード／Numbering Code			
授業科目名／Subject	●現代経済と企業活動Ｉ(企業の仕組みと行動)		
編集担当教員／Professor in charge of putting together the course syllabus	宇都宮　譲		
授業担当教員名（科目責任者）／Professor in charge of the subject	宇都宮　譲		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Professor(s)	宇都宮　譲		
科目分類／Class type	全学モジュールＩ科目		
対象年次／Year	1年，2年，3年，4年	講義形態／Class form	講義
教室／Class room	教養教育A棟24		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuzuru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL/Tel	+81-95-820-6384		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日14時から20時まで。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講義は、経営学と呼ばれる学問領域について、全体像を提供することを目的とする。とくに、管理（経営資源を配分・調整すること）に着目して論じる。 経営学に関心を有する諸君は、本講義によって当該領域に関する概要を知り、以降の学修に役立てられんことを願うや切である。		
授業到達目標/Goal	1.　経営学における主要な概念を理解すること。 2.　上記概念が成立した過程を知ること。		
授業方法（学習指導法）/Method	講義による。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	所有と経営の分離；株式会社；科学的管理法；人間関係論；統計的品質管理；品質保証；労働生産性；能率		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は、使用しない。担当教員が、教材を配布する。 参考書として、以下2点を挙げる。 1.　土屋守章（1994）『現代経営学入門』新世社。 2.　早川豊彦編（2004）『工業管理技術』実教出版。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト：30% 定期試験：70%		
受講要件（履修条件）/Requirements	特になし。 通算して4回以上欠席した学生は、定期試験を受験する権利を喪う。		
学生へのメッセージ/Message for students	一層奮励努力せよ。		
授業計画詳細			
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents		
第1回	イントロダクション　：講義目標と方法について説明する		
第2回	企業形態1/2　：資金調達法に着目、株式会社生成に至る過程を概説する。		
第3回	企業形態2/2　：株式会社における所有と経営の分離とその問題点について論じる。		
第4回	企業組織1/2　：ライン組織やライン=スタッフ組織など諸形態について、発生と長短を論じる		
第5回	企業組織2/2　：事業部制生成と発展について、概説する。		
第6回	工程管理1/2　：生産計画中、特に日程計画および工数計画について、手法を運用しながら解説する。		
第7回	工程管理2/2　：工程分析と作業研究について、意義と手法を概説する。		
第8回	科学的管理法1/2　：概要と取り組む諸活動を、背景に言及しながら論じる。		
第9回	科学的管理法2/2　：科学的管理法以降に現れた、様々な動機付け手法について解説する。		
第10回	品質管理1/2　：品質管理が掲げる目的と手法を、練習問題をとりまぜながら解説する。		
第11回	品質管理2/2　：近年における検査および品質保証活動について、意義を概説する。		

第12回	人事管理　：労働者を合理的に活用する諸活動について、概説する。
第13回	労働生産性　：企業活動から得られる成果を評価する一指標について、計算しながら解説する。
第14回	労働生産性　：企業活動から得られる成果を評価する一指標について、計算しながら解説する。
第15回	環境管理　：自然環境に負荷を与えないように、なにをするべきか論じる。
第16回	定期試験

学期／Semester	2015年度／Academic Year　後期／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	月/Mon 2
開講期間／Class　period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択／Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学)／Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード／Time schedule code	20150586006102	科目番号／Subject　code	05860061
科目ナンバリングコード／Numbering Code			
授業科目名／Subject	●現代経済と企業活動Ｉ(経済政策と公共部門)		
編集担当教員／Professor in charge of putting together the course syllabus	島田　章		
授業担当教員名（科目責任者）／Professor in charge of the subject	島田　章		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Professor(s)	島田　章		
科目分類／Class type	全学モジュールＩ科目		
対象年次／Year	1年，2年，3年，4年	講義形態／Class form	講義
教室／Class room	教養教育A棟24		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shimada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館5階501		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了直後の20分程度		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	初めに価格メカニズムと市場経済における政府の役割を解説する。つぎにマクロ経済の成り立ちを解説する。最後にマクロ経済の側面での政府の役割を解説する。		
授業到達目標/Goal	価格メカニズム、市場経済における政府の役割、マクロ経済の成り立ち、金融と金融政策、財政と財政政策を入門レベルで理解する。		
授業方法（学習指導法）/Method	主に教科書と板書によって解説する。練習問題を解き、レポートとして提出してもらう。受講生の人数が多くなければ、班単位で口頭発表もしてもらう。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	価格メカニズム、需給均衡、金融、金融政策、財政、財政政策		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	中谷武・中谷保[編著]『1からの経済学』発行所：碩学舎、発売元：中央経済社、2010年刊		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	第1回のレポート（25パーセント）、第2回のレポート（25パーセント）、定期試験（50パーセント）		
学生へのメッセージ/Message for students	私にメールを送るときは件名に「平成27年度全学教育『経済政策と公共部門』受講者の何々学部（学部名）の誰々（氏名）で何番（学生番号）、用件は何々（例えば質問など）」と書いてください。		

授業計画詳細

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	経済学の考え方
第2回	需要と供給
第3回	市場経済における国家の役割
第4回	GDPとは何か　その１
第5回	GDPとは何か　その２
第6回	GDPとは何か　その３
第7回	何がGDPを決めるのか　その１
第8回	何がGDPを決めるのか　その２
第9回	第１回のまとめとレポート
第10回	政府の役割ー金融と金融政策ー　その１
第11回	政府の役割ー金融と金融政策ー　その２
第12回	政府の役割ー財政と財政政策ー　その１
第13回	政府の役割ー財政と財政政策ー　その２
第14回	第２回のまとめとレポート
第15回	総括
第16回	定期試験